

～ 第1回と第2回で挙げられた質問と回答のまとめ ～

◇料金回収率が60%と低い原因はありますか？

⇒施設を作った時に適切な料金設定としておらず、収支バランスが悪い状態です。

特に減価償却費が費用を大きく占め、1億3千万円程です。現状は人件費や施設の電気代を全てカットして、水道水を0円で作っても赤字になる状況です。(決算書>損益計算書より)

◇水源地が何カ所、どこにありますか。水源は連結されたものはない？

⇒水源地は17箇所、施設は16箇所。公営企業という組織にしたため1事業体です。

⇒七日市と蓼野、伊勢原で3つ連結され、融通がききます。柿木地区は柿木～白谷～下須でつながっており、伊豆原の水を分けています。

⇒六日市と蔵木は繋がりますが、鉄の仕切弁のため、動かすと濁り(サビ)がでます。なかなか繋がれないのが現状です。

◇広域化すれば効率化を図れると思うのですが、逆に施設と施設の移動範囲が広くなれば、結果、高くつくのではと思うのですが？

⇒各施設で何かあった場合、そこまで行く時間は変わりません。そういう経費は減っていかない。

⇒民間委託という話も、儲けがなければ民間も受けません。大田市以西では誰も手を出さない状況。

◇補助事業の採択してもらおうと思ったら水道料金を現行の最低でも1.3倍を上げないという事でよろしいでしょうか？

⇒全国平均より上でないと国の補助金はもらえない。基準が、口径13mmで10㎡使用時。

⇒全国平均で決まるので、他が水道料金を上げれば、国の補助がもらえなくなる時が来ます。

※直近は1,597円以上(その前年は1,581円以上)。 吉賀町1,694円(800円+740円+消費税10%)。

◇諮問では料金を上げることが前提と思うが、どこを重点に審議すればいいのか。

⇒まずは短いスパンでの経営の安定化からしていかなければいけないと考えています。

⇒六日市・蔵木の更新を見据え、出ていくお金と入ってくるお金の均衡がとれる形で進めたいと考えています。

◇全体の町内の水道全体の改修計画みたいな全体の計画、俗にいう長寿命化計画や改修計画などはありますか？

⇒ありません。今後は島根県の考え、広域化もありますし、色んな社会情勢の変化があります。

◇六日市・蔵木の改修をしようという計画ですが、料金改定があるなしに関係なくやる予定でしょうか？

⇒老朽化対策は進めていかなければいけない状況です。止めることはできません。

◇水道料金は、吉賀町、津和野町、益田市はそれぞれやっぱり違うのですか？

⇒はい。違います。

◇75mmとか50mmとかは消火栓も入っていますか？

⇒消火栓は入っておりません。

◇これからどのように進めていけばいいのですか？

⇒諮問事項は料金水準と改定時期です。

⇒今の料金体系や参考までに提案しました料金案の数字や経営の状況などをもう一度、お目通しいただき、それから議論を深めていただく、という事のほうが落ち着いて議論ができるかなという気がします

⇒吉賀町全体の水道の安定的な運営。そして、みなさんが安心して使えるような水道にしていかなければいけないという大前提があるわけです。町民の人数が少ない、山の中だから、お金がないからダウンサイジングするんだとかではなくて。吉賀町全体の水道を、今後、皆さんが安心して使えるような水道になっていくには、ということを議論していただきたい。

⇒その全体を考えながら、この短いスパンでの経営の安定化をしていきたい。